

2年生「おへそのひみつ」



- ① 自己紹介
- ② (導入) 誰から生まれてきたの?
- ③ 胎児の成長過程
- ④ 臍帯について
- ⑤ いのちの音を感じよう!
- ⑥ 胎児が生まれる体験をしよう
- ⑦ 妊娠 10 ヶ月の妊婦体験 (妊婦エプロン)
- ⑧ まとめのお話

赤ちゃんの心臓の音はわたしたちのよりも早いそうです。電車のよ
うな音でした。(2年)

「へそのお」から赤ちゃんに栄養がいくと初めて知ってすごいなあ
と思いました。(2年)

赤ちゃんになって、おなかの中から出てくる体験は大変でした。赤ちゃんはうまれてくるのにすごく時間がかかるんだなあ。(3年)

妊婦さん体験をしてペンを拾おうとしたとき、本当は拾えそうなのに、おなかがじゃましてしゃがまないと届きませんでした(3年)

少し気恥ずかしくて言えなかった話を、授業で楽しく話して下さい、子どもたちがまじめに聞いていてよかったです。(保護者)
命の大切さ自分を大切にすることは大事ですね。私も見学しながら気持ちがほぐれほっこりした感じがしました。(保護者)

5年生「いのちのひみつ～生きるって～」

- ① 自己紹介
- ② (導入) いのちの誕生(胎児の成長)
- ③ 体の成長と第二性徴
- ④ いのちについて考える
谷川俊太郎の詩「生きる」より
- ⑤ グループ活動「生きるってどういうこと?」
- ⑥ まとめのお話



今まで自分の命や、家族やだち、いつも支えてくださっている方の命について考えたことはありませんでした。今日は命について詳しく学ぶことが出来ました。これからは、もっと命を大切に、自分のよいところをたくさん発見して、人生を楽しく幸せに過ごしていきたいです。

2年生の時に「おへそのひみつ」を教えていただいた先生から、5年生になった私たちに、いのちのこと、からだのこと、生きることを教えていただきました。



私が一番驚いたのは、赤ちゃんが自分で誕生日を決めて外の世界に出てくるということです。自分で決めて、生きるために出てくることを初めて知ったのでビックリしました。赤ちゃんは愛情たっぷりに育てなきゃいけないので大変だと思いました。私を産んで育ててくれたお母さんに感謝したいです。

夢が叶ったときだけでなく絶望したときにこの授業を思い出して、頑張っていきたいと思います。あらためて「命の大切さ」を知ることが出来てよかったです。

赤ちゃんはおなかの中でたくさん成長するとわかりました。みんなで「生きること」について考えました。「生きること」はたくさんありました。楽しいことではないことも「生きる」ことでした。いのちの大事なことがわかりました。



スキー事故により、一生寝たきりか車いすの生活をする事になると宣告を受けた腰塚さん。社会復帰を諦めず、周りの人の支えに感謝しながらリハビリに励みました。そんな腰塚さんから、命の大切さを教えていただきました。

☆命が喜ぶ生き方を具体的に移すための5つの誓い

- ★心は人の痛みがわかるために使おう…
- ★手足は人を助けるために使おう…
- ★耳は言葉を最後まで聴いてあげるために使おう…
- ★目は人のよいところを見るために使おう…
- ★口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…



<感想>

「命の授業」に参加して、あらためて命は大切なんだと思いました。私も腰塚先生のように、あきらめずにいろいろなことに取り組みたいです。私の周りにはドリー夢メーカーがいっぱいいると気づきました。私もみんなのドリー夢メーカーになれるように頑張ります。これからも、命を大切にしていきたいです。

<感想>

腰塚先生は素晴らしい人でした。毎日リハビリを続け、自分の夢をかなえて、自分やみんなが幸せになる道を進んでいたからです。ドリー夢メーカーとドリー夢キラーが戦って、自分の夢をかなえたそうです。まだ動きづらい手足があっても、毎日前向きに楽しく生活しとても素晴らしい人だと感じました。これからも、自分・みんなの命を大切にしたいです。

<感想>

誰の心にも、ドリー夢メーカーとドリー夢キラーはいるけれど、どちらも生きていくためには必要だと感じました。腰塚先生のようなことがあったとしても、ドリー夢キラーと闘いながら毎日過ごして、そして自分を助けてくれたドリー夢メーカーに私はなりたいたと思いました。「頑張れ」だけではなく「一緒に」という言葉を大切に生きていきたいです。

<感想>

1回、立ち直れなくなっても、家族・友達が支えてくれて立ち直れたこと、自分の中にドリー夢メーカーとドリー夢キラーがいることがわかってよかったです。友達・家族・周りの人がどれだけ大切かわかってよかったです。これから「いのちが喜ぶ生き方」を考えて、人を大切にしたいです。



6年生 からだ・こころ・いのちの学習 「卒業する君達へ ー共に生きるー」

☆ねらい 中学校への進学は、新しい環境や新たな出会いなど、この12年間にはない大きな変化が起こる時期であり、加えて思春期真っ只中で体や心の成長や揺れが激しい時期である。これまでの学習を振り返りながら、自他の生命の大切さや、人と関わり合って共に生きるとはどういうことか考えさせる。



☆内容

○いのちの誕生～心の成長（人との関わり） 養護教諭より、これまでの指導の振り返り

○思春期の君達へ（からだ・こころ・いのち）

- ・ 第二性徴
- ・ 男女の違い（プライベートゾーン）
- ・ 思春期の特徴（異性への関心、欲求の個人差など）
- ・ ネット社会とのつきあい方（出会い系サイト、身を守る）
- ・ 命とは、生きるとは、・・・ 自分で未来を選んでいく

外部講師より



○中学生へそして大人へ 一人とかかわり生きるー（思春期のエピソード）担任より

○保護者の方から応援メッセージ

参加保護者全員より

○サプライズ 家族からの手紙



☆感想

授業を終えてーこれから自分や人とどう付き合っていくかー

自分の思うことや、自分以外の人の気持ちをちゃんと考えて行動していきたいと思いました。

これから、いろいろな人と付き合っていくから、そのたびに考えたり相談したりしたいです。感謝の気持ちを持ちながら人と関わりたいです。

人を信じ、みんなで認め合って付き合っていきたいです。また、いのちを十分につかって、みんなのために生きていきたいです。

いろいろな人と出会うので、自分の考えを伝えたり相談のったりできるコミュニケーションの力を高めていく。私を助けてくれた人を助けられるような人になる。誰かを支えられる人になりたい。

たくさんの人と関わり、自分が本当に信頼できる人をたくさんつくりたい。人を傷つけないように相手の気持ちも考えながらいろいろな人と付き合いたいです。

自分の考え意見だけでなく、相手の気持ちも理解していきたい。いのちの時間の中で、楽しい嬉しい幸せと感ずることのできるような人生にしたい。

今まで以上に人との関わりを大切にしていきたい。

参観して下さった保護者の方から

卒業を前にした6年生へのはげましの言葉

思春期には、いろいろな出会いがありますが、どんな時も、自分のこころや体を大切に、そして相手のこころや体も大切にできる人になってください。

思春期に入ると、友達との世界が広がり親とあんまり話をしなくなってしまうことが多いけれど、そばで見守っているの、何かあったら相談してね。

大人に近づくということは、自分の考えで行動できるようになることでもあります。同時に責任もでてくるということです。しっかりと考え、行動し、楽しく過ごして下さい。

